

平成27年度 ワンホープ乳剤の適用品種一覧

- ワンホープ乳剤は、この表の適用品種以外には使用しないでください。晩蒔き、二期作品種、極晩生品種には使用しないでください。
 - 自家採種トウモロコシには使用しないでください。
 - 他剤（ペンタゾン剤、メトラクロール剤）との混合で薬害が強くあらわれる場合がありますので、使用しないでください。
なお、その他の薬剤との混用については、弊社までお問い合わせ願います。
- ※本一覧表は、毎年更新されます。最新の情報は弊社ホームページ等にてご確認ください。

品 種 名					
パイオニアデント	39B29	39H32	P9027	34N84	31P41
	39M48	39K56	38V52	P1543	P1690
	P7631	39A87	36B08	P0725	P2088
	39F83	*39T45	P9400	P2023	
	P8025	(北海道のみ適用可)	34B39	32F27	
Z-Corn	801	901	90α	112	118
	853α	903	105	115	125
ロイヤルデント	ルイージ78 (TH406)	TH442 (TH442)	TH860 (TH860)	TH472 (TH472)	
	TH620 (TH620)	ビエナ (TH338)	TH1089 (TH1089)	TX1162 (TX1162)	
	ハイパー82 (TH233)	TH932 (TH932)	TH058 (TH058)	TX1241 (TX1241)	
	TH922 (TH922)	TH1146 (TH1146)	TH875 (TH875)	120 (TX448)	
ゴールドデント	KD254	KE373	KD550	KD660	
	KD277	KD418	KD580	KD671	
	KD301	KD420	KD621	KD680	
	KD320	KD502	KD640	KD731	
	KD376	KD510	KD641	KD777NEW	
	グリーンデント	115 (JG1159)			
スノーデント	108 (LG3490)	115ポラリス (SM8446)	118シルマ (SM1023)	125T (SH2821)	
	110 (LG3520)	118 (DKC61-24)	122レオ (SM8490)		
	115 (SH4681)	118S (SH3786)	125わかば (SH3815)		
	ニューデント	75日 LG3215	85日 リッチモンド	90日 LG3264	105日 LG2533
	78日 ソリード (Anjou227)	85日 ビビアン	95日 DKC34-20	110日 LG3458	
	80日 ビビッド (Anjou257)	85日 エリオット	100日 LG3457		
	85日 LG3235	90日 Anjou284	102日 LG3490		
ネオデント	*シンシア90 (SL9945)	*アシル90 (SH1353)	クロノス90 (SL12029)	(*は北海道のみ適用可)	
サイレージオーン	NS100スーパー	NS115	NS118スーパー	NS124(旧NS807)	NS127
	NS110	NS115スーパー	NS120	NS125	
ファームデント	75日 (FD21-27)	83日 (FD29-19)	90日 (FD36-62)	105日 (FD51-22)	
	80日 (FD26-72)	85日 (FD30-66)	97日 (FD43-47)	110日 (FD56-49)	
	80日 (FD27-88)	88日 (FD34-66)	100日 (FD46-81)	120日 (FD66-91)	
クミアイデント	105	113			
	エスパー S-8812	アルバトロス	ばびりか	きみまる	ゆめつよし
	コピー	チベリウス	たちびりか	タカネスター	95日 タラニス
	デュカス	メルクリオ	きよら	タカネフドウ	110日 テクトニス
	アンボール	ブリザック	おおぞら	ゆめちから	
	シャンティ	セバスト	北交65号	ゆめそだち	

*パイオニアデント 39T45、ネオデント シンシア90 (SL9945) およびアシル90 (SH1353) には、北海道地域以外では使用しないでください。

平成26年11月末現在

適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤およびニコスルフロンを含む 農薬の総使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
飼料用 とうもろこし	一年生雑草	とうもろこし3~5葉期	100~	70~	1回	雑草茎葉散布
	多年生イネ科雑草	ただし収穫30日前まで	150mℓ	100ℓ		

本内容は平成24年10月31日付の登録内容に基づいています。

*添付の適用品種一覧を御一読ください。適用品種以外の品種、晩蒔き、二期作品種、極晩生品種には使用しないでください。

効果・薬害等の注意事項

- 1) 散布液調製前には容器をよく振って使用してください。
- 2) **有機リン系殺虫剤との混用および7日以内の近接散布は、薬害を生じることがあるのでさけてください。**
- 3) 散布数日後、一時的に退色および生育抑制を生じることがありますが、その後の生育、収量には影響しません。
- 4) 薬液の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害を生じることのないよう、十分に注意して散布してください。
- 5) 通常の輪作体系では後作物に影響はありませんが、本剤散布後短期間に飼料用とうもろこし以外の作物の播種はさけてください。
- 6) 散布前後一週間以内の中耕は、除草効果を低下させるのでさけてください。
- 7) 散布直後の降雨は、効果を低下させるので、天候を見極めて散布してください。
- 8) 使用後、タンク、ホース、ブーム、ノズル内に薬液が残らないよう散布器具は十分に洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないよう注意してください。
- 9) 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 10) 使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 11) 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

安全使用上の注意事項

- 1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 2) 原液は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 3) 散布の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに、衣服を交換してください。
- 4) 作業時に着用していた衣服等は、他のものと分けて洗濯してください。
- 5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
魚毒性等…この登録に係る使用方法では問題ありません。
保管………密栓し、火気や直射日光を避け、食品と区別して冷蔵・乾燥した所に保管してください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

※本印刷物は平成26年11月時点での知見に基づいて作成しています。

ISK 石原産業株式会社

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号 ☎(06)6444-7154 FAX(06)6444-7156
中央研究所 〒525-0025 滋賀県草津市西浜川2丁目3番1号 ☎(077)562-3574 FAX(077)561-2024

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本 社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 ☎(03)5844-6320 FAX(03)3812-6548
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西1丁目1番地(サンメモリア) ☎(011)261-0211 FAX(011)271-3376
仙台支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目1番41号(カメイ仙台中央ビル) ☎(022)227-6813 FAX(022)264-4585
東京支店 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 ☎(03)5844-6350 FAX(03)3812-6589
大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号 ☎(06)6444-1454 FAX(06)6441-0765
福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目10番11号(イトーピア天神ビル) ☎(092)751-0432 FAX(092)761-5924

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

0120 FreeDial 石原テレホン相談室 0120-1480-57

イシハラ イーナ



適用作物、薬量(希釈倍率)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします



飼料用とうもろこし専用除草剤

石原 **ワンホープ**® 乳剤

®は石原産業株の登録商標



ISK 石原バイオサイエンス株式会社



飼料用とうもろこし専用除草剤 石原 **ワンホープ**® 乳剤

特長

- 一年生雑草のみならず、シバムギ、レッドトップなどの多年生イネ科雑草までしっかり防除します。
- 飼料用とうもろこしに選択性を持ち、とうもろこし(3~5葉期)の生育期に茎葉処理できます。
- ALS阻害により、雑草を枯殺します(薬剤散布後から枯殺までは2~4週間程度時間を要します)。
- 茎葉処理剤ですので、土壌条件や処理後の気象条件の影響は少なく、安定した効果を発揮します。

多年生イネ科雑草(牧草)に対する効果



ワンホープ乳剤100mℓ/10a 処理21日後



無処理

多年生イネ科雑草の地下茎(塊茎)にも作用し、再生を制御することができます。

【試験条件】
試験時期:2010年5月
試験場所:石原産業(株)中央研究所
散布水量:100ℓ/10a
試験草種:オーチャードグラス(4葉期)、チモシー(4葉期)、レッドトップ(4葉期)
処理時期:とうもろこし4葉期

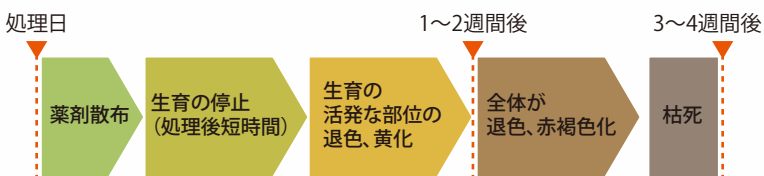
成分・性状

一般名	ニコスルフロンの	人畜毒性(製剤)	普通物*	急性経口毒性	ラット♂♀	LD ₅₀	>5000mg/kg
試験番号	SL-950			急性経皮毒性	ラット♂♀	LD ₅₀	>2000mg/kg
有効成分含有量	4.0%	水生生物への影響(製剤)	急性吸入毒性	ラット♂♀	LC ₅₀	>1.18mg/ℓ (4hr)	
化合物グループ	スルホニルウレア系			眼刺激性	ウサギ	刺激性なし	
性状	類白色粘稠懸濁液体			皮膚刺激性	ウサギ	弱い刺激性あり	
化学名(IUPAC)	2-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-N,N-ジメチルニコチンアミド			皮膚感作性	モルモット	感作性なし	
				ニジマス	LC ₅₀	49mg/ℓ (96hr)	
				オオミジンコ	EC ₅₀	177mg/ℓ (48hr)	
				藻類	ErC ₁₀	>100mg/ℓ (72hr)	
				コイ	LC ₅₀	47.3mg/ℓ (96hr)	

* 毒劇物に該当しないものを指している通称

殺草メカニズム

有効成分のニコスルフロンは、雑草の根部、茎葉部のいずれからも吸収され、植物体内に移行します。本有効成分はスルホニルウレア(SU)系化合物であり、植物体内で合成される分岐鎖アミノ酸(パリン、ロイシン、イソロイシン)の生合成酵素であるアセトラクテート合成酵素(ALS)の働きを阻害することで、雑草の細胞分裂を阻害し、生育を停止させます。新葉展開を強く抑制し、2~3週間かけて雑草を枯殺します。



効果発現症状(現地試験)



殺草スペクトラム

広い殺草スペクトラムを持ち、多くの一年生雑草、および多年生雑草を茎葉処理で同時に防除することができます。

雑草種別	一年生イネ科雑草					多年生イネ科雑草			
適用雑草	メヒシバ	オヒシバ	エノコログサ	イヌビエ	スズメノカタビラ	シバムギ	レッドトップ	ジョンソングラス	リードカナリグラス
薬量 100mℓ/10a	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
薬量 150mℓ/10a	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

雑草種別	広葉雑草								
適用雑草	ヒユ類	イヌホオズキ	シロザ	イチビ	タデ類	スベリヒユ	ツククサ	オナモミ	アサガオ類
薬量 100mℓ/10a	◎	□	□	△	○	○	□	□	□
薬量 150mℓ/10a	◎	□	□	△	○	○	□	□	□

防除効果/◎:極大 ○:大 □:中 △:小

社内自主試験事例紹介

【試験条件】 試験時期:2014年6~7月 試験場所:北海道芽室町 処理時期:とうもろこし5葉期 散布水量:100ℓ/10a 発生雑草:シロザ(8cm)とオーチャードグラス(45cm)の優占圃場。その他、イヌビエ(10cm)、ツククサ(5葉期)

ワンホープ乳剤150mℓ/10a+A剤100mℓ/10a 処理区

試験区①



処理前 処理20日後 処理31日後

試験区②



処理前 処理20日後 処理31日後 処理31日後(試験区中央部分)

B剤150mℓ/10a+A剤100mℓ/10a 処理区

対照区



処理前 処理31日後

上手な使い方

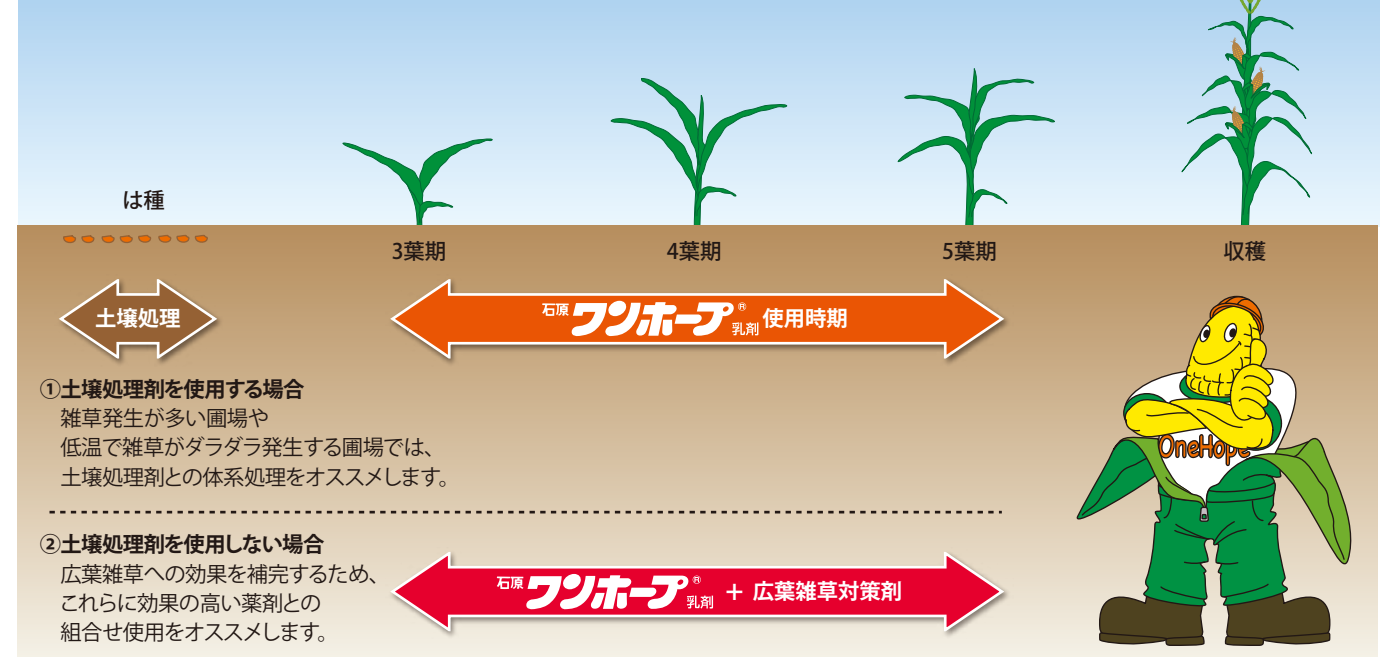
とうもろこしに対する安全性

- 使用時期はとうもろこしの3~5葉期ですので、その範囲内で使用してください。
- 高温となる日(最高気温30℃以上)、または乾燥により作物がストレスを受けている状態では使用しないでください。
- 飼料用とうもろこし(デント系、フリント系)が対象です。スイートコーン、ポップコーンには使用しないでください。

散布適期

- 雑草が大きくなりすぎると除草効果が低下しますので、早めの散布を心がけてください。
- 土壌処理効果は期待出来ませんので、雑草発生前には散布しないでください。

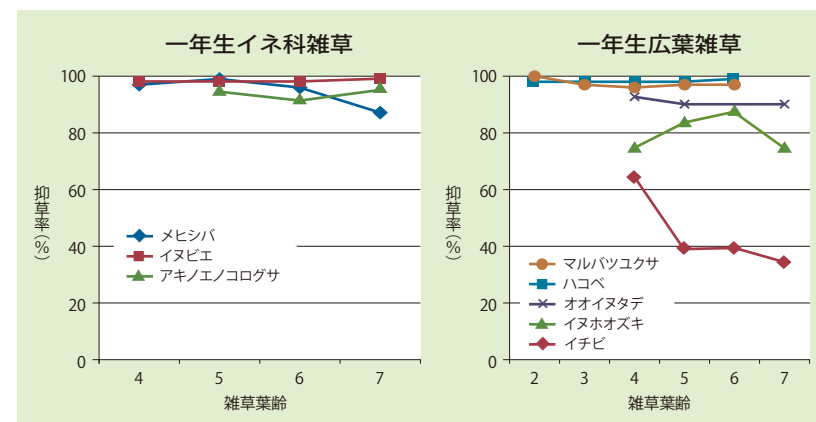
【とうもろこしの生育図】



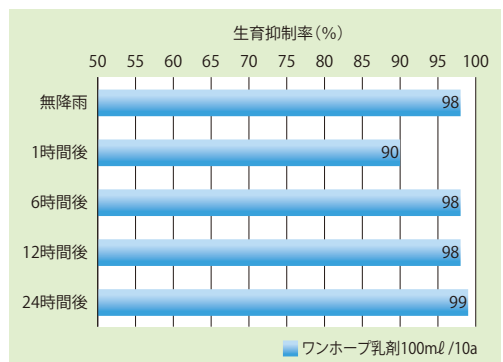
①土壌処理剤を使用する場合
雑草発生が多い圃場や低温で雑草がタラタラ発生する圃場では、土壌処理剤との体系処理をオススメします。

②土壌処理剤を使用しない場合
広葉雑草への効果を補完するため、これらに効果の高い薬剤との組合せ使用をオススメします。

雑草の生育ステージと効果(雑草の散布適期)



降雨の影響



本剤処理後、6時間以降の降雨であれば、効果に問題がないことを確認しています。しかし、散布後の降雨は効果を低下させるので、天候を見極めて散布してください。

【試験条件】
試験時期:2001年
試験場所:石原産業(株)中央研究所
試験方法:メヒシバ(3.2葉期)に対して、本剤処理後、各時間経過後に人工降雨装置で30mm/時間の降雨処理を1時間行い、殺草効果を確認した。
調査:処理22日後

